

福岡、東京を越えていく

我が国日本の首都は、言わずもがな東京である。人口、経済、金融など、すべてが集積しており、誰もが認める日本の核である。そんな中心都市東京を、生まれ育った街、福岡が越えていく姿を、私は見たいのである。

もちろん福岡も、様々な地域と比較しても、非常に発展した都市である。人口も 500 万人を超え、福岡に本社を構える企業も数多く存在する。さらには、博多港、北九州港を有することにより、アジア諸国との交流、貿易も盛んに行われていることや、福岡空港と博多駅の距離も近く、他の追随を許さない利便性を有することも、福岡の強みの一つと言えるであろう。

福岡が東京を越えていくためには、まずは追いつくことが必要である。そのためには、まずは東京にあって福岡にないものを見つけ、模倣していくのが手っ取り早い。そこでまず挙げられるのが、有する鉄道路線の数である。現在、東京には福岡とは比較にならない程の路線がある。その数は 80 を越え、東京の利便性を支える大きな要因の一つとなっている。対して福岡は、路線バスが広いエリアで普及しており、鉄道が発達しているとは言えない状況である。東京のように隅々まで鉄道路線を張り巡らせることができれば、福岡の利便性は格段に高まる。さらには、各地域の人の往来が加速し、経済的な成長も見込まれる。また、膨大な数の大規模工事が長期的に行われることにもなり、建設業界の特需にもつながる。そうして鉄道路線が増加すれば、福岡の利便性は飛躍的に高まり、そしてそれが福岡のさらなる人口増加へと繋がり、また、様々な企業の参入にも繋がっていくのである。

このようにして東京と肩を並べ、そこからさらに、福岡が抜きんでているアジア諸国との交流などの利点を活かして東京を越えていく。これが私の夢アイデアである。もちろん、「夢」の話であるから、私営鉄道の誘致など、様々な問題は度外視した上で述べているが、近い将来、そのような姿の福岡を目にしたいものである。